

国分寺市にふるさとをつくる会

237号 令和3年12月1日発行

特定非営利活動法人

国分寺市にふるさとをつくる会

理事長 白木 昭憲

〒185-0024 東京都国分寺市泉町2-6-2-4 04

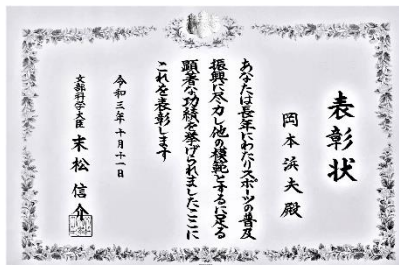
Tel: 090-6034-4616 fax: 042-324-2125

E-mail: shiraki@way.ocn.ne.jp

文部科学大臣賞“生涯スポーツ功労賞”の受賞を受け

国分寺市にふるさとをつくる会副理事長 岡本 浜夫

この度、生涯スポーツの健全な普及・発展に貢献し、永年地域スポーツの振興に携わり顕著な成果を挙げたとして高く評価され、文部科学大臣賞の栄誉にあずかることは、身に余る光栄で大変嬉しく思っております。



思えば、ソフトボール競技一筋に、約60年間係り、現役選手として20年間。選手・チームとして語れる様な華々しさは皆無に等しいものでしたが、職場のソフトボールサークルに在籍し、東京都の実業団では最強と「自画自賛」手前味噌のチームが関東予選会で代表2チームに勝ち上がり「全日本実業団選手権大会」へと駒を進め、鹿児島県の大会に初出場した実績が、後にも先にも唯一、語れる成果と言えるでしょうか。

その後、近隣高校女子チームのコーチと、また東京都大会の審判員として、シーズン中(土・日)、グラウンド三昧の日々を送っていました。

当時、都立高では前例のないシンガポール・マレーシアへ国際親善の話があり、“まめ大使”役を担った選手達の随員として海外遠征に初参加しました。“まめ大使”女子チームは現地高校生との親善試合に、また夕食は和やかに打ち解け、親善と親睦の目的を多いに果たせました。当時指導していた高校の監督さんが、当時の東京都ソフトボール協会理事長の重責を担っていました。

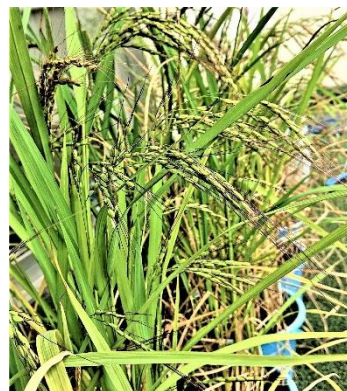
これらの係わりもあり、協会の事務局長を11年間、引き続き理事長を13年間務めさせて頂きました。理事長当時、東京都から姉妹都市の関係にあった中国北京市との“国際友好スポーツ親善”大会にと推薦され、家庭婦人の選手20名と、同行視察婦人・スタッフのまとめ役として60名の団体を率いて北京市に招かれました。北京では訪中人数の多さに喜ばれ、親善試合と懇親会など昼夜大歓迎の“おもてなし”を受け国際親善・友好に貢献できました。上述の様に、ソフトボール競技を介し60年間生涯スポーツに関わってきました。小中高大学生と、一般社会人・障害者チームを含め、約320チームと、個人登録数約5,100人で構成する大きな団体でしたが、メジャー競技の仲間入りは残念ながら今一步でした。しかし、任意団体の一役員として、生涯スポーツの普及・発展に微力ながら、貢献できたことは自負しております。ソフトボール競技の現状は、次回2024年開催パリ大会迄、除外扱いではありますが、次々回2028年ロサンゼルス大会で五輪復帰を見据え取組んでいる状況に、ソフトボール愛好者の一人として協力・応援を惜しみません。

終わりに、生涯スポーツ競技には今迄培われた経験と、私の財産である人との出会いから学んだ多くの事が活かされるのであれば積極的に携わる覚悟であります。

今に生きる幻の赤米と国分寺の未来

赤米セミナーレ代表 大石 岳人
(国分寺動物病院 院長)

国分寺で発見された「幻の赤米」をご存じでしょうか？24年前に恋ヶ窪の畑で発見され、正式には武蔵国分寺種といい、日本の4大赤米の一つとされ、大変貴重なお米です。私がこの赤米に出会ったのは、3年前「国分寺の未来をつくる3つの事業」というイベントでした。その一つが「古代赤米水田復活」で、街の仲間とともに赤米栽培を始めました。国分寺市内には既に水田はなく畑や公民館のバケツで栽培開始。春に種をまき、夏は汗だくで雑草を刈り、秋は倒伏防止で支柱を立て、麻ひもで縛る。8月のある朝、赤い穂が出て、開花しているのを見つけた時の感動は、今でも忘れることはできません。



11月の新嘗祭で、熊野神社に自分たちが作った赤米を奉納し、神事に参加できた事も貴重な体験でした。現在、複数グループが、この貴重なお米を絶やさぬよう活動していますが、今後は小学生への教育面や、国分寺の街おこしに、赤米が未来のために役に立つ事を願っています。

12月行事予定

- 6日(月) 防災推進の街づくり仲間の会
井戸端会議 9:30 室内プール前井戸
- 7日(火) 森の自然塾会議
9:30 恋ヶ窪公民館
- 11日(土) ふるさとをつくる会：恋ヶ窪公民館
●理事会：13:00~14:00
●合同幹部会議：14:30~16:30
- 18日(土) 日吉町町内会定例会
13:30 日吉フードセンター
- 19日(日) 森の自然塾：9:20 エックス山
- 19日(日) 防災推進の街づくり仲間の会
14:00 恋ヶ窪公民館
- 26日(日) 姿見の池ホテルの会
作業：9:30 姿見の池
会議：14:00 恋ヶ窪公民館
- 27日(月) 会報配布準備
13:30 恋ヶ窪公民館(印刷 13:00~)
- 27日(月) 多摩に歩く会 会議
15:00 恋ヶ窪公民館

生涯スポーツイラスト



立川防災館研修会の実施

防災推進の街づくり仲間の会 代表 荒川 隆二

昨年は新型コロナウイルスの影響により中止となりましたが、2年越しの立川防災館で防災研修会を11月15日に実施いたしました。当日の参加者は18名で、2班に分かれて研修を受けました。

研修内容は防災ミニシアター、応急救護体験（AED）、救出救助体験、VR防災体験の4種類です。応急救護体験（AED）では使い方は分かっていたつもりですが、呼吸が停止していた人の心臓がどんな状況にあるか、なぜAEDが必要なのかなど詳細に説明を受けました。救出救助体験では、ひとりではなく、とにかく何人かを集めて皆で救出救助を実施する事の重要性を学びました。VR防災体験では、火災と地震を体験いたしました。

ゴーグルで見るだけでなく、座席が動き、火災では煙の匂いまで感じる大変リアルな体験でした。午前中2時間の研修会があっという間に終了した感じでした。研修会が終了した後、当日は秋晴れの暖かい日でもありましたので、有志にて近くの昭和記念公園に行き、イチョウやモミジの紅葉を散策して帰路につきました。



ふるさとの自然と歴史を訪ねる会を再開

実施責任者 二瓶文博

コロナ禍で中止が続きましたが、ようやく1年ぶりに再開しました。参加者の方々と、互いの無事を喜びあい、うれしいスタートとなりました。

今回は、国立の矢川緑地から谷保天神までの田園地帯を歩きました。矢川緑地では、立川屋線の湧水で作られた湿地と、豊富な水量の矢川に生育する水生植物が観察できます。木道を歩きながら、去年の実と今年の実をぶら下げたハンノキを観察しました。また、ソーセージのようなガマの実が破裂して30万個以上の綿毛を飛ばすとの話に驚きました。

住宅地の中にある四軒在家公園には、古墳時代後期の古墳が移築・復元されていました。国立市にはたくさんの遺跡が見つかり、1万5千年前という太古から、人々が住んでいたことがわかっています。四軒在家古墳は、小さな10個の円墳が集中して見つかった貴重な遺跡です。

江戸と東京の食料を支えた、青柳から谷保の田園風景に思いを馳せながら、谷保天満宮でウォークを締めくくりました。



復元された四軒在家古墳1号墳の石組み

緊急事態宣言解除後の11月「森の自然塾」

NEAL 自然体験指導者 長谷慎太郎

田中由美子

今月の「森の自然塾」はスタッフ10名含めて、児童25名、保護者及び未就学児15名の総勢50名。緊急事態宣言解除後であるが、全員マスク着用とスタッフの事前体温測定、参加者の体調確認等を行い、密を回避の為、第九小学校の2か所、図書室と理科室に分散して、プログラムA（田中）「ドリームキャッチャー作り（インディアンに伝わる安眠のお守り）」と、プログラムB（長谷）「ひつつきむしで大漁だ！魚釣り」を行いました。「ドリームキャッチャー」は、蔓の輪にカラフルな糸を張り巡らし、ドングリ、ウッドビーズ、鳥の羽で飾りつけました。「魚釣り」は、ひつつきむし（絶滅危惧種に指定されている）を「釣針」にして、葉っぱに魚の絵を描き、口にスキマテープを付けて完成。九小の廊下で釣り大会開始、廊下は魚を釣り上げる子供達の歓声でいっぱいです。今夜はドリームキャッチャーを枕元に、大きな魚を釣った夢を見て皆さんぐっすりお休みなさい。

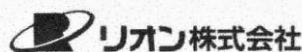


ドリームキャッチャー作り



ひつつきむしで魚釣り！

環境保全に配慮し、
人に、社会に、地球に
優しい製品及び
サービスを提供します



<https://www.rion.co.jp/>

エックスやま
本社はX山に位置します

自然環境保護に賛同

賛助会員 TEL 042-321-5441

国分寺市日吉町4丁目13番2

中央システム技研(株)

代表取締役 川野 誠
(長野県下伊那郡出身)

「自然と共存するライフスタイル」

○太陽光発電設備(自家消費)の
企画・施工・販売

○ホームリノベーションのご相談・提案

賛助会員

文京区本郷1-4-4 水道橋ビル5階
グリーンファースト株式会社

TEL:03-3812-6466

HP : <http://clean-first.jp>

私たちは木を森を自然を
大切にしています。

Environment Conscious
R&D for the Future

企業紹介はこちら
(株)日立製作所
中央研究所 →



HITACHI
Inspire the Next